



市政ニュース



市長 島村 穰

平成23年度 市長施政方針

～新たな上尾を『創』り出すために～

⇒秘書室 (☎775-3849・FAX775-9861)

●市政運営に関する所信

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、広範囲にわたり未曾有の震災をもたらし、私たちはいまだかつて経験したことのない困難に直面しました。この災害によって、お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、ご遺族に深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。そして、この困難な事態を收拾するために、懸命に努力されている皆様に深く敬意を表する次第です。

当面、電力問題をはじめ、市民生活へのさまざまな影響が心配されまはじめ、市民生活の根本をなすインフラの安全確保、さらに被災地の一刻も早い復興のために、避難された皆様への支援、そして現地への支援など、引き続き最善を尽くしてまいります。

例えば、昨夏の観測史に残る猛暑、そして年末からは、日本海側の豪雪や霧島・新燃岳の噴火と、生活の安心・安全が脅かされる事態が続いています。現在、市は4自治体と22の民間団体との間で「災害時における応援協定」を締結し備えています。また、安心・安全を確保することが、いかに困難であるかを感じ知らされました。これら天候不順や自然

災害は、農作物にも大打撃を与え、複合的な要因も相まって、世界経済の先行きを不透明にしています。2月に内閣府が発表したGDP(国内総生産)の速報値は、5四半期ぶりに前期比マイナスに転じましたが、景気を回復させ、雇用環境を守り、将来展望が持てる社会を構築することは、日本経済が今後も成長していくための喫緊の課題であり、そのための施策展開は、国・地方を問わず、いつときの猶予も許されません。

●輝かしい未来のために

現在と酷似した経済状況下で、卓抜した指導力と行動力で企業を立て直し、晩年にはわが国を巨額の財政赤字から脱却させるために全身全霊を傾けられた経営者に土光敏夫さんがいます。

明治29(1896)年に生まれた土光さんは、「土光タービン」と異名が付けられるほどの猛烈な働きぶり合理的な経営改革で、石川島播磨重工業株式会社(現IHI)、そして東京芝浦電気株式会社(現東芝)の業績を回復させます。その後、昭和49(1974)年、オイルショックによる経済乱世の最中、78歳で第4代経済団体連合会会長に就任しますが、その6年間は、狂乱物価に始まり、エネルギー・資源問題、貿易摩擦と、諸問題が一気に押し寄せ、産業構造

の転換を迫られた時代でした。余りある情熱のもと全国を行脚し、意気消沈している経営者を元気づけるとともに、精力的に進言や要望を繰り返すことで、その職責をまっとうした土光さんに、世間は隠居を許しません。

昭和56(1981)年当時、日本の国債残高は82兆円、地方債は40兆円近くなっており、国民一人当たり約100万円の借金がありました。大変な危機感の下、既に85歳になっていた土光さんは、第二次臨時行政調査会の会長に就任し、崩壊に向かっている日本社会には「行政改革」という手術しないと矢継ぎ早に答申を打ち出します。土光臨調から30年を経た現在、国と地方の長期債務残高は、当時の7倍に達してしまいましたが、土光さんの強靱な意志によって明示された方針は、現代の行政改革へと綿々とつながっています。

土光さんが国民の皆さまへ遺されたメッセージを紹介します。

「私は、これまで老骨にむち打って、行政改革に全力を挙げて取り組んでまいりました。私自身は21世紀の日本を見ることはないでありましよう。しかし新しい世代である、私たちの孫やひ孫の時代に、わが国が活気に満ちた明るい社会であり、国際的にも立派な国であることを心から



願わずにいられないのであります」
自らを厳しく律し、率先垂範を實踐した土光さんの言葉は、現代に生きる私たちへの教訓として、今なお、光り輝いています。

●新たな総合計画

さて、先行きが不透明な社会情勢の中、未来への展望を開くため、私はことしを、新たな上尾を『創り出す年』と位置付けました。本年度は今後10年を見据えた、第5次上尾市総合計画がスタートしましたが、これからのまちづくりは、市民・事業者・行政のあらゆる主体が協働すること、さらに絆が深まり、より強いコミュニティを築いていくことが求められています。そこで、「協働」「自立」「共生」「独創」をまちづくりの基本理念の4本柱として据えるとともに、公募に応じた市民も委員に加わった「あげお近未来☆市民会議」では、多様な議論を頂いたのはじめ、多くの市民の皆様の意見を取り入れました。市が目指す将来都市像を「笑顔きらめく、ほっとなまち あげお」と示したのは、市民一人一人が心の豊かさを感じ、それが笑顔となつて表れ、快適な環境の下で、住んでいる人々がほっとすること。またさまざまなイベントで、経済活力も高まる活気あふれるホット(熱い)なまちを願ひ、真に

市民の皆様が必要とされる事業を積極的に実施し、諸問題を克服していくことを表現したものです。将来の世代に負担を残さないために、財政を健全化しながら、同時に多様化するサービスの水準を維持・向上させるという、一見矛盾したように見える難題を解決することは容易ではありませんが、それが私に課せられた使命であると理解しています。

幸い、市には、自治会などの地縁的な共同体をはじめ、商工、農業、福祉、環境、子育て、国際交流など領域を超えた団体によって、自らの街や暮らしを豊かにしようとする取り組みが既に始まっています。

昨年、全国各地で100歳以上の高齢者の所在不明問題が顕在化し、「無縁社会」という言葉が生まれましたが、本市では民生委員や事務区長の普段からの気遣いと、地域の皆様の協力体制によって、一人の所在不明者もないことが確認できたことは、誇るべきコミュニティが存在していることの表れです。

本計画の全体を貫くテーマである「協働」の下、激しい社会経済環境の変化の中にあつても、市民・事業者・行政が手を取り合い、「こどもからおとしよりまですべてにやさしい思いやり市政」の実現のために全力を傾注してまいります。

平成22年国勢調査の速報(要計表による人口)

⇨庶務課(☎775-4989・FAX775-9819)

国勢調査は、大正9年に初めて行われてから5年ごとに実施され、今回は19回目でした。そこで要計表(地域ごとに人口と世帯数を取りまとめた一覧表)による市の概数人口をお知らせします。この人口は、後日、国で発表する確定人口と一致しないことがあります。確定値(個々の調査票を基に集計)は、総務省統計局から10月以降公表予定で、都道府県別の結果は集計が完了したもののから順次公表されます。

概数人口は22万3882人、世帯数は8万7406世帯でした。今回の国勢調査を前回の平成17年の結果と比較すると、人口で3650人、世帯数で5459世帯増加しています(右表参照)。およそ年700人強の人口増加になります。人口の伸びに比べ、世帯数の伸びが大きい要因の一つに単身世帯の増加が考えられます。また住民登録人口(平成22年10月1日現在)と比較すると、人口で3192人、世帯数で4698世帯少なくなっています。これは、住民登録と国勢調査では人口や世帯についての定義が異なるためです。

国勢調査人口の増加率は1.7%、世帯の増加率は6.7%です。また1世帯当たりの人口は2.56人で前回の2.69人に続き減少傾向が続いていることも分かりました。

市の国勢調査人口の推移

年	世帯	増加率(%)	人口	増加率(%)
昭和40	12438	64.6	54776	40.9
〃 45	29904	140.4	110792	102.3
〃 50	39619	32.5	146358	32.1
〃 55	48611	22.7	166243	13.6
〃 60	52808	8.6	178587	7.4
平成 2	61148	15.8	194947	9.2
〃 7	68551	12.1	206090	5.7
〃 12	74947	9.3	212947	3.3
〃 17	81947	9.3	220232	3.4
〃 22	87406	6.7	223882	1.7



平成23年度 予算のあらまし

「笑顔きらめく “ほっと” なまち あげお」の実現に向けて

⇒財政課 (☎775-4247・☎776-8873)

平成23年度予算については、新たにスタートした第5次総合計画で掲げた市の10年後の将来都市像「笑顔きらめく “ほっと” なまち あげお」の実現のため、これまで以上に新たな事業を計上するなど、積極的に施策を展開し、22万7千人の市民が「住んでよかった」と実感できるような魅力あるまちづくりを推進するための予算となっています。

具体的には、健康づくりや子育てと教育に重点を置き、こども医療費の無料化、富士見小学校校舎改築、(仮称)東保健センターや(仮称)瓦葺コミュニティ施設の整備などの重要な施策を引き続き推進しながら、新たに、子宮頸がんなどのワクチン接種の無料化や小・中学校へのALT(外国語指導助手)全校配置を実施します。

また、市債発行額を前年度の8割程度に抑制し市債残高を減少させるなど、次世代に負担を残さないように、財政の健全化にも取り組みました。

その結果、一般会計当初予算額は、567億9千万円と、前年度と比べて5.0%、27億3千万円の増となり、市で過去最大の予算規模となりました(表1参照)。

5ページ図1は、一般会計予算の歳入・歳出の内訳です。歳入では、市税が全体の5割強を占めていて、歳出では社会保障関係費などの民生費が4割強を占めています。

5ページ表2は、一般会計予算の歳出を市民1人あたりに換算したものです。

一般会計予算 主な事業

平成23年度一般会計予算のうち、新規事業を中心に主な事業を紹介します。

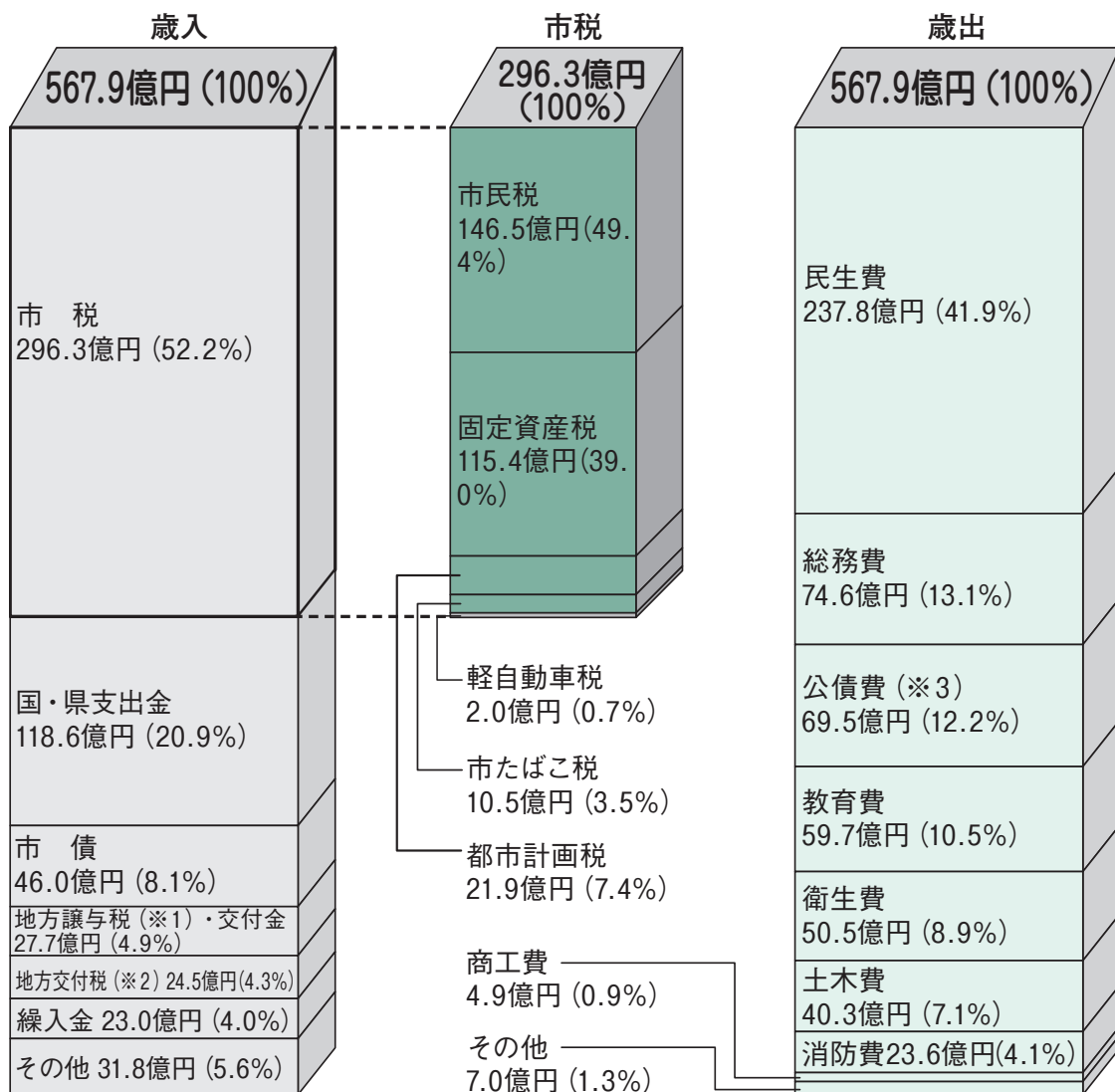
- こども医療費支給事業 6億4339万円
平成22年10月診療分から支給対象を中学校卒業時まで拡大しましたが、本年度も引き続き実施します。
- 校舎改築事業・校舎大規模改造(耐震補強)事業 15億2067万円
本年度中に完成予定の富士見小学校の改築工事、中央小学校の校舎改築実施設計、各中学校の屋内運動場の耐震設計を実施します。また前年度補正予算を繰り越し、その他小・中学校の大規模改造(耐震補強)工事を実施します。
- (仮称)東保健センター整備事業 1億1365万円
市民の健康づくり活動の新たな拠点として、緑丘地内に保健センターの整備を進めます。
- (仮称)瓦葺コミュニティ施設整備事業 2億5645万円
健康の維持増進を目的として、子どもからお年寄りまで多くの人が、思い思いに楽しく過ごせる施設を瓦葺地内に建設します。
- 予防接種事業 7億558万円
中学1年生から高校1年生までを対象とした子宮頸がんワクチンの他、0～4歳の乳幼児を対象としたヒブ・肺炎球菌ワクチン接種の無料化(3.6億円)を実施します。
- 小・中学校ALT(外国語指導助手)配置事業 1億490万円
外国語活動を一層充実させる観点から、ALTを大幅に増員し、全校に配置します。
- 中小事業等支援事業 6307万円
各種修繕工事などを市内の中小企業などに発注することで、市内経済を活性化させます。前年度補正計上分と合わせて、1.2億円の規模の事業を実施します。
- 緊急雇用創出事業 1億2769万円
離職を余儀なくされた労働者などの雇用機会を創出するため、合せて15の事業を実施します。

【表1】会計別予算

区 分	予 算 額	対前年度比 (%)
一 般 会 計	567億9000万円	5.0
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 会 計	215億6330万円 7.0
	工 業 住 宅 団 地 開 発 事 業 会 計	112万円 △18.2
	公 共 下 水 道 事 業 会 計	53億8340万円 8.7
	介 護 保 険 会 計	100億1000万円 8.1
	後 期 高 齢 者 医 療 会 計	16億7790万円 △0.8
小 計	386億3572万円 7.1	
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計	56億6800万円 △0.5
合 計	1010億9372万円 5.5	



【図1】一般会計予算の歳入・歳出の内訳









※1 地方譲与税は、国が地方公共団体の代わりに徴収した地方揮発油税や自動車重量税などの国の税収を、道路の延長や面積などの基準により地方公共団体に配分するものです。

※2 地方交付税は、地方公共団体間の財源のバランスを調整し、全ての地方公共団体が一定の行政サービス水準を維持できるように、所得税などの国の税収の一部を合理的な基準によって地方公共団体に配分するものです。

※3 公債費は、市が借り入れた借金の元金と利子の合計額で、過去の債務の支払いに要する経費です。市の歳入の減少に関係なく支出しなければならない義務的経費に当たります。

【表2】市民1人当たりの換算額

一般会計の歳出が、市民1人当たりどれくらい使われるかを表しています(人口は平成23年4月1日現在)。

	教育費	2万6000円
	衛生費	2万2000円
	民生費	10万5000円
	土木費	1万8000円
	総務費	3万3000円
	消防費	1万円
	公債費	3万1000円
	商工費	2000円
	その他	3000円



上尾の魅力を再発見

あなたも参加してみませんか

「あげお駅からハイキング」

⇒市観光協会 (☎775-5917・FAX775-5024)

荒川沿いの雄大な草原から牧場へ、そして初夏のハナショウブを満喫できる自然散策コースです。上尾丸山公園ではあげお花しょうぶ祭りが開催されています。園内では恒例の勅使川原郁恵さん(元五輪代表ショートトラック・スピードスケート選手)のウォーキング教室をはじめ、市指定民俗文化財の「藤波の餅つき踊り」や太鼓の生演奏が楽しめます。沿線でのもてなしにご期待ください。

- ▶とき 6月5日(日) ※午前9時～11時にJR上尾駅西口で受け付けを行い、自由散策となります。
- ▶コース JR上尾駅西口を出発し、馬蹄寺や荒川沿い草原、榎本牧場、上尾丸山公園(あげお花しょうぶ祭り)、川の大じめなどを巡り、JR上尾駅西口へ戻る全行程15*。
- ▶募集人員 約2千人(先着順)
- ▶持ち物 昼食、歩きやすい服装
- ▶申し込み 6月1日(水)までに電話(03-5719-3777(月～金曜日午前10時～午後5時))、ホームページ(<http://www.jreast.co.jp/hiking/>)、携帯サイト(<http://www.jreast.co.jp/hiking/m/>)で「JR東日本・駅からハイキング事務局」へ
- ※申込時にコース番号(05117)、参加者(代表者)の在住都道府県名、参加人数を登録してください。 ※市観光協会では、申し込み受け付けはできません。

受付スタート

ゴール



子どもたちの健やかな成長を願って こいのぼりを掲揚

⇒市観光協会 (☎775-5917・FAX775-5024)

5月5日の「こどもの日」に合わせて、市民の皆さんの寄付により集められたこいのぼりを掲揚します。春の空の下、色とりどりのこいのぼりが元気に泳ぎます。

- ▶とき 4月25日(月)～5月15日(日)
- ▶ところ 上平公園(市民球場北側)、上尾丸山公園(児童遊園地北側大池上)
- ※市観光協会では、こいのぼり(3疋以上)の寄付を随時、受け付けています。



上尾丸山公園に掲げたこいのぼり(昨年)

あげお花しょうぶ祭り

⇒市観光協会 (☎775-5917・FAX775-5024)



上尾丸山公園の菖蒲田(2800平方疋)には、約70種1万株のハナショウブが咲き誇り、市民の目を楽しませてくれます。6月5日(日)には「あげお駅からハイキング」も行われ、あげお花しょうぶ祭りの期間中は市内の特産品などの販売も行います。

- ▶とき 5月28日(土)～6月12日(日)
- ▶ところ 上尾丸山公園
- ▶内容 特産品などの販売(期間中の土・日曜日午前9時30分～) ※売り切れ次第終了します。

(小泉先回り)

バス停名	恵和園行	恵和園行	恵和園行
上尾駅西口	7:55	11:35	14:00
自然学習館	8:20	12:00	14:25
丸山公園南口	8:23	12:03	14:28
上尾駅西口	9:14	12:54	15:19

(日産先回り)

上尾駅西口	9:20	13:00	16:15
丸山公園南口	9:59	13:39	16:54
自然学習館	10:01	13:41	16:56
上尾駅西口	10:39	14:19	17:34

市内循環バス
「ぐるぐるん」
平方循環



市長 キラリ通心



一日も早いEGAO(笑顔)を

市長 島村 穰

市民の皆さん、こんにちは。市長の島村です。

驚きと、自然の脅威を感じた「東日本大震災」から早くも1カ月半が経過しました。この震災は、全てが私たちの想定をはるかに超え、災害に対する認識を根底から変える“新災”となった一方、やさしさや思いやり、心の絆など、お金や物には代えられない“心財”という心の財産が全国で生まれ、大きく育っています。

市でも、「市長へのはがき」を通じて、市民の皆さんからさまざまなご意見やご要望を頂きました。特に多く寄せられたのは“正確な情報の発信”で、市内の約半分の世帯が停電し、テレビからの情報が得られない状況の中、情報不足への不安や防災行政無線が聞き取りにくいなど、多くの貴重な“意見”を頂いています。

今回の震災では、通信手段が断たれたことによって、市にもほとんど情報が入らないという異例の状況でしたが、この教訓を生かし、今後は正確な情報

をいち早く市民の皆さんに届けられるよう作業を進めています。防災行政無線については、可能な範囲でスピーカーの調整を行うとともに、「上尾市Webサイト」と「上尾市携帯サイト」でも放送した内容をお知らせするよう改善し、さらにメールによる情報配信サービス(メールマガジン)の運用も始めました。

また市民の皆さんから頂いた“意見”の中で多かったのは、支援物資や義援金の提供、そして災害ボランティアへの参加希望です。被災地では、自衛隊、消防、警察、そして多くのボランティアが一丸となって復興に向けて頑張っていますが、このような活動を支えるのは、「助けたい」「笑顔になってほしい」という全国から寄せられた多くの思いやりの心でしょう。市内にはこのような思いやりの心を持った人がたくさんいて、被災地復興を支えたいという声を上げてくださるのは、行政を預かる私にとって大きな誇りであり、あらためて“上尾”というまちの素晴らしさを実感しています。

「AGEO(上尾)」というアルファベットを並び替えると「EGAO(笑顔)」になります。99歳で詩人としてデビューした柴田トヨさんの『被災者の皆様に』という詩の一節、「朝はかならず やってきます くじけないで!」を心の中で繰り返しながら、被災地に一日も早い“EGAO(笑顔)”が戻ることを心から祈り、市民の皆さんと一緒に応援を続けたいと思います。

児童扶養手当・特別児童扶養手当などの改定

- ⇒こども支援課(児童扶養手当) ☎775-5120 ☎774-5342
- ⇒障害福祉課(特別児童扶養手当) ☎775-5123 ☎776-8872

平成22年度全国消費者物価指数の下落により、4月から児童扶養手当・特別児童扶養手当・障害児福祉手当・特別障害者福祉手当・経過的福祉手当の額が下表のとおり改定されました。

●児童扶養手当(月額)

児童数	全部支給	一部支給
1人	4万1550円	4万1540~9810円
2人	4万6550円	(4万1540~9810円)+5千円
3人以上	1人につき3千円を加算	

●特別児童扶養手当(月額)

等級	改定後	改定前
1級	5万0550円	5万0750円
2級	3万3670円	3万3800円

●障害児福祉手当(月額) ●特別障害者福祉手当(月額) ●経過的福祉手当(月額)

改定後	改定前	改定後	改定前	改定後	改定前
1万4330円	1万4380円	2万6340円	2万6440円	1万4330円	1万4380円

子育てガイドブック携帯版を発行しています

- ⇒こども支援課(☎775-5120・☎774-5342)

4月からこれまでの「子ども家庭課」が「こども支援課」と「保育課」に分かれたことに伴い、新しい課の担当事業や、子育てマップを記載した『あげ子育てガイドブック携帯版』(A5判)を発行しました。

安心して子育てができるように、子育てに関する情報を一冊に分かりやすくまとめて掲載しています。母子健康手帳交付時が、こども支援課(市役所2階)で配布しています。育児や子育てに活用してください。



税は納期限内に納めましょう!

市税・国民健康保険税の納付は、
近くのコンビニや金融機関で

⇒納税課(TEL775-5135・FAX775-9846)

コンビニで納付するときは見本①～③にご注意ください。

●対象税目 市・県民税(普通徴収分)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税

●納付場所

・市役所、各支所・出張所
・市指定金融機関(埼玉りそな銀行)

・市収納代理金融機関

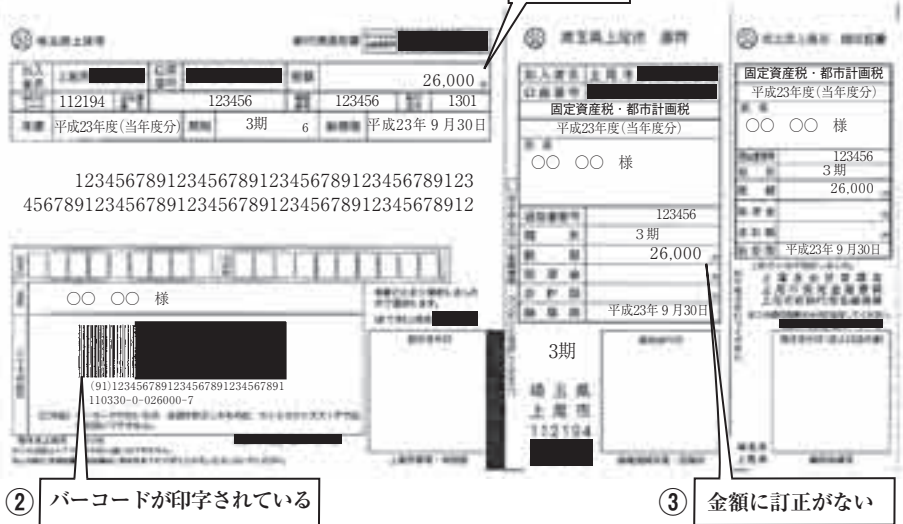
みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、群馬銀行、足利銀行、武蔵野銀行、東和銀行、栃木銀行、大光銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、城北信用金庫、中央労働金庫、あだち野農業協同組合

○ゆうちょ銀行、郵便局(埼玉県、東京都、神奈川・千葉・群馬・茨城・栃木・山梨各県の各ゆうちょ銀行と郵便局) ※納期限内のものに限ります。

○全国のコンビニエンスストア

am/pm、エブリワン、くらしハウス、ココストア、コミュニティ・ストア、サークルKサンクス、スリーエイト、スリーエフ、生活彩家、セーブオン、セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ポプラ、ミニストップ、ヤマザキデイリーストアー、ローソン

(見本)納税通知書



※納付書は各コンビニ店舗でも取り扱いができるように、全国統一の書式となっています。冊子ではない1枚ずつの単票となっていますので、納付の際は納期の取り違えのないように店舗へ出してください。

安心・便利・確実な口座振替を!

口座振替は、指定の口座から納期限日(右表参照)に自動的に納付できる便利な制度です。

●申し込み

「口座振替依頼書・自動払込利用申込書」(納税通知書に同封)に必要な事項を記入・押印して、取扱金融機関か納税課(市役所2階)または各支所・出張所へ(※1)

●必要な物

「口座振替依頼書・自動払込利用申込書」、引き落としをする通帳、通帳の届け出印、納税通知書

市・県民税	固定資産税・都市計画税	軽自動車税(※2)	国民健康保険税	納期限(振替日)	各期別の口座振替申込期限
	第1期	全期		5月31日(火)	本年度終了
第1期				6月30日(木)	5月16日(月)
第2期	第2期		第1期	8月1日(月)	6月17日(金)
第2期	第3期		第2期	8月31日(水)	7月15日(金)
第3期			第3期	9月30日(金)	8月16日(火)
			第4期	10月31日(月)	9月16日(金)
			第5期	11月30日(水)	10月14日(金)
第4期	第4期		第6期	12月28日(水)	11月11日(金)
			第7期	平成24年1月31日(木)	12月16日(金)
			第8期	平成24年2月29日(水)	平成24年1月13日(金)

※1 口座振替を申し込んでから口座振替開始まで45日程度かかります。口座振替の準備が整ったら、文書で案内を郵送します。口座振替の開始期、振替口座を確認してください。口座振替開始以前の分は、納付書を利用してください。開始期以前の分を、さかのぼって振り替えることはできません。

※2 これから軽自動車税の口座振替を申し込んだ場合は、平成24年度から開始となります。



こんなとき	手続き内容	提出期限
誕生月を迎えた	年金受給権者現況届(注1)	誕生月内
住所を変更した	年金受給権者住所・支払機関変更届	14日以内
年金の受取先を変えたい	年金受給権者住所・支払機関変更届	随時
年金証書を紛失した	年金証書再交付申請書	随時
氏名を変更した	年金受給権者氏名変更届	14日以内
年金を受けている人が死亡した	年金受給権者死亡届(注2)	14日以内

(注1) 現況届とは別に、加給年金額などが加算されている人は「生計同一証明書」を、障害年金を受給している人は医師が作成した「診断書」などを、それぞれ提出しなければならない場合があります。

(注2) 死亡した人が受給していた年金の種類によっては、未支給年金や遺族年金の手続きが必要です。

●**現況届**
現況届は、毎年誕生月に提出が必

注意ください。
受けている人は、年金の届け出は退職共済年金を受けている共済組合に提出することになっていきますのでご注意ください。

ください。
700-1165)へお問い合わせ

- ④ 外国籍(外国人登録)
- ⑤ 外国に住んでいる
- 詳しくはねんきんダイヤル(☎0570-051165または03-6700-1165)へお問い合わせ

年金受給者の皆さん こんなときは届け出を

保険年金課 ☎775-5137
☎775-9827

年金を受給している人は、左表のような場合、早めに届け出をしてください。届け出先は原則として年金事務所です。各届け出書は年金事務所または保険年金課(市役所1階9番窓口)にあります(現況届、住所・支払機関変更届、年金証書再交付申請書は各支所・出張所にもあります)。

要でしたが、平成18年10月から住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)により現況確認を行うことになったため、原則不要になりました。ただし次の①～⑤のいずれかに該当する人は、現況届の提出が必要
要です。

- ① 日本年金機構で住民票コードの確認ができていない
- ② 日本年金機構が管理している年金受給者の基本情報(氏名、生年月日、性別、住所)が住基ネットに保存されている基本情報と相違している
- ③ 住基ネットに参加していない市区町村に転出する

子どもの読書活動推進事業補助金を交付

⇒ 図書館(☎773-8521・☎776-7330)

平成23年3月策定の「あげお子ども読書プラン～上尾市子どもの読書活動推進計画」を進めるため、地域児童文庫や、地域で子どもの読書活動を行っている団体に補助金を交付します。

▶ 対象 ①児童文庫の運営事業②図書館、公民館などの公共的な施設で地域の子供、保護者などを対象に実施するおはなし会などの開催事業③その他、子どもの読書活動を推進する事業として市長が認める事業

▶ 内容 対象①/児童文庫で貸し出し、閲覧させるための児童書などの購入費 対象②③/消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、使用料、賃借料その他市長が認める経費

▶ 補助金額 補助の対象となる経費と2万5千円(児童文庫が年間100日以上開所している場合は5万円)とを比較していずれか少ない額

▶ 提出期限 交付申請書/5月31日(火) 実績報告書/平成24年4月30日(振休)

▶ 交付日 6月30日(木)

▶ 交付要綱の設置場所 図書館本館



埼玉県議会議員一般選挙

島田・石渡・畠山の3氏が当選

⇒ 選挙管理委員会事務局 ☎775-9868
☎775-9819

埼玉県議会議員一般選挙(南第13区=上尾市)は、4月10日に投票が行われ、即日開票の結果、島田正一、石渡豊、畠山稔の3氏が当選しました。

なお、当日の有権者数・投票者数・投票率は表1のとおりで、開票結果は表2のとおりです。

【表1】

当日有権者数	男	89667人
	女	90489人
	計	180156人
投票者数	男	38111人
	女	39052人
	計	77163人
投票率	男	42.50%
	女	43.16%
	計	42.83%

【表2】(敬称略)

候補者名	党派名	得票数
島田正一	自由民主党	19907
石渡豊	公明党	16531
秋山もえ	日本共産党	11031
新井金作	無所属	9819
畠山稔	民主党	18854



あげおアッピーガイド(観光 ボランティア)養成講座

市観光協会 ☎775-5917

☎775-5024

▼とき 6月8日～7月6日(6月

29日を除く)の毎週水曜日(全4回)

午後1時30分～4時30分

▼ところ プラザ22

▼対象 市内に在住の人

▼定員 30人(応募者多数の場合は
抽選)

▼申し込み はがきまたはファクス
で住所、氏名、電話番号を5月20日
(金)までに上尾市観光協会あげお
アッピーガイドの会(〒362-0
042谷津2-1-50プラザ22内)へ
※詳しくは市観光協会ホームページ
(<http://www.ageo-kankou.com/>)を
ご覧ください。

市図書館協議会委員の募集

図書館 ☎773-8521

☎776-7330

市図書館協議会は、図書館の運営
に関し館長の諮問に応じ、図書館の
行う業務に対して、館長に意見を述
べる機関です。この市図書館協議会
の委員を募集します。

▼募集人数 2人以内

▼応募資格 次の①～⑤全てに該当

する人/①20歳以上で、市内に在住
している②年2、3回開催される協
議会の会議(平日)に出席できる③市
の他の附属機関などの委員でない④
上尾市の市議会議員、行政委員会の
委員または市職員でない⑤図書館法
(昭和25年法律第11号)第15条に規定
に該当する

▼応募期間 5月17日(火)～6月15
日(水)

▼応募方法 「上尾市図書館協議会
(公募委員)応募用紙」(図書館本館・
分館、各公民館図書室にある。市
ホームページ図書館コーナーにも
掲載)に必要な事項を記入の上、直
接または郵送、ファクス、メール
(s72400@city.ageo.lg.jp)で応募用紙
と1200字以内の作文を添付して
図書館本館へ

▼選考 記載された事項を審査し、
選考 ※面接を行うことがありま
す。

障害基礎年金の加算の範囲拡大に 伴う児童扶養手当への受給変更

こども支援課 ☎775-5120

☎774-5342

4月1日から障害基礎年金の子加
算の運用が見直されました。これに
より、対象となる児童の児童扶養手
当額が、障害年金の子加算額を上回
る場合は、児童扶養手当への受給の

引き続き 「子ども手当」を支給します

⇒こども支援課(☎775-5120・☎774-5342)

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援
するために、中学校修了前の子どもを養育してい
る人に「子ども手当」を支給します。平成23年9月
分までは、子ども1人につき月額1万3千円(平
成22年度と同額)を支給します。

▶支給対象 市内に住所があり、中学校修了前
の子ども(15歳に達する日以後最初の3月31日まで)
を養育している人 ※公務員の人は勤務先で手続
きをしてください。

▶所得制限 なし

▶対象となる子ども 中学校修了前まで

▶手当額 1人につき月額1万3千円

※出生や転入した場合は申請が必要です。

▶支給月 6月(2～5月分)・10月(6～9月分)
※10月分以降の手当は、決まり次第お知らせしま
す。詳しくは、こども支援課へお問い合わせくだ
さい。

変更ができます。手当を受けるため
には、申請が必要です(所得制限な
どがあり)。

▼対象 次の①か②に該当する人/
①一定の障害のある配偶者が障害年
金の子加算を受給している②子加算
を受給していない人で児童扶養手当
を受給していない

▼受給開始月 申請日の翌月 ※3
月31日以前に該当している人は、8
月31日(水)までに申請すれば、4月
分からさかのぼって手当が受給でき
ます。

▼申し込み 申請者本人がこども支
援課(市役所2階⑤番窓口)へ
※必要書類は、申請者の状況により

3月定例市議会 平成23年度 当初予算案などを可決

庶務課 ☎775-4963

☎775-9819

3月定例市議会は、2月24日から
3月23日まで28日間の会期で開かれ
ました。この議会では、平成23年度
当初予算をはじめ、上尾市職員定数
条例の制定などの議案が審議されま
した。

このうち市長提出の21議案について
は、全て原案どおり可決されまし
た。



市役所 人事異動

⇒職員課
☎775-5112
☎775-9819

4月1日付で人事異動を行いました。異動総数は624人です。そのうち課長級(所屬長・主席主幹)以上の異動は次のとおりです。

部長級

▽秘書室参与兼秘書室長/関根章隆
▽環境経済部長/和田正憲
▽同部参与兼西貝塚環境センター所長/市川好夫
▽建設部長/大塚信幸
▽会計管理者/内田哲
▽消防長/成井正美
▽企画財政部参事兼次長/石川幸利
▽総務部参事兼次長/大井川茂
▽環境経済部参事兼次長/山根充夫
▽消防本部参事兼次長/中村進
▽教育総務部図書館長/清水文子
▽選挙管理委員会事務局長/野本一人
▽監査委員事務局長/田中和美
▽農業委員会事務局長/森泉薫
▽健康福祉部付参事(上尾市社会福祉協議会)/坂戸公

次長級

修
▽同部付参事(上尾市社会福祉協議会)/坂本正一
▽同部付参事(上尾市社会福祉協議会)/湯本均
▽企画財政部次長兼財政課長/清水啓太
▽同部主席副参事兼自治振興課長/山本敏雄
▽健康福祉部次長兼健康推進課長兼保健センター所長兼平日夜間及び休日急患診療所長/中村紀子
▽同部次長/小川厚則
▽環境経済部次長兼環境政策課長/金井塚清
▽都市整備部次長/綿貫健
▽同部次長兼まちづくり計画課大規模道路対策室長/尾崎俊治
▽建設部次長/那須久雄
▽同部次長兼下水道課長/吉田修三
▽西消防署長/河原塚律緒
▽議会事務局次長兼議事調査課長/田中覚
▽教育総務部次長兼上尾公民館長兼上平公民館長兼平方公民館長兼原市公民館長兼大石公民館長兼大谷公民館長/松本孝明
▽同部次長/尾形昭夫
▽同部スポーツ振興センター所長/笹岡孝行
▽学校教育部次長/町田洋一
▽秘書室副参事兼次長/菅間茂久
▽企画財政部副参事兼原市支所長/坂巻直人
▽総務部副参事兼契約検査課長/岡田薫
▽同部副参事兼人権推進課長/嶋田一徳
▽同部副参事兼用地管財課長/大久保

課長級

務
▽同部副参事兼庶務課長/井上建一
▽健康福祉部副参事兼高齢介護課長/加藤ふみ子
▽市民部副参事(危機管理担当)/北川和孝
▽同部副参事兼市民安全課長/上村和男
▽環境経済部副参事兼西貝塚環境センター次長/工藤廣一
▽同部副参事兼生活環境課長/安田定雄
▽同部副参事兼商工課長/小幡雄人
▽消防本部副参事兼総務課長/高野英司
▽東消防署副参事兼原市分署長/山崎秀樹
▽同署副参事兼消防第一課長/吉田春男
▽同署副参事兼管理課長/矢部峰好
▽西消防署副参事兼平方分署長/矢野浩之
▽同署副参事兼大谷分署長/中嶋信一
▽水道部副参事兼総務課長/福島照夫
▽同部副参事兼工務課長/高橋清
▽議会事務局副参事兼庶務課長/大澤弘
▽健康福祉部付副参事(上尾市シルバー人材センター)/新井常雄
▽企画財政部総合政策課長/岸健二
▽同部大石支所長/加藤尚美
▽同部大谷支所長/大室賢司
▽同部広報課長/加藤孝
▽総務部職員課長/駒崎久志
▽同部青少年課長兼青少年センター所長兼西小なかよし児童クラブ室長/山田良平
▽健

康福祉部こども支援課長/坂間悦子
▽同部保育課長/山本克彦
▽市民部市民課長/尾形京子
▽同部市民税課長/岩瀬富士夫
▽同部資産税課長/栗野昭夫
▽同部納税課長/黒須昇
▽同部保険年金課主席主幹/静政之
▽環境経済部西貝塚環境センター主席主幹/萩原聖彦
▽同部西貝塚環境センターごみ減量対策室長/井西秀男
▽都市整備部まちづくり計画課長/長谷部勝夫
▽同部区画整理課主席主幹/加藤渉
▽同部区画整理課主席主幹/秋池義茂
▽同部開発指導課長/秋山喜久治
▽建設部道路管理課長/金子武
▽同部道路整備課長/茂木和夫
▽同部営繕課長/田中貞夫
▽消防本部警防課長/戸井田千秋
▽同部指令課長/嶋村陸夫
▽東消防署消防第一課主席主幹/武田生男
▽西消防署消防第二課長/井原学
▽水道部維持管理課長/竹中隆一
▽教育総務部総務課長/小川千代子
▽教育総務部生涯学習課長/三枝実
▽教育総務部スポーツ振興センター次長兼市民体育館長/中島英二郎
▽学校教育部中学校給食共同調理場所長/吉田満
▽企画財政部総合政策課付主席主幹(上尾市地域振興公社)/北川茂